

1. 協働型学校評価重点目標について

ア 一人一人が学年に応じた家庭学習の時間に取り組む(学年+1×10分)。
イ 学校や家庭で、自分の仕事に責任を持って取り組む。

<学校の取組>

ア 家庭学習の時間に応じた宿題の量や内容を検討し、定着を図る。
イ 児童会や係活動などの仕事に積極的に取り組ませ、その頑張りを認め成就感を持たせる。

<保護者・地域の取組>

ア 家庭学習の時間を、自分から進んで守れるように励ましや賞賛の働きかけを行う。
イ 家庭の中での仕事の役割を与え、継続して取り組ませる。

**※Aが3点, Bが2点, Cが1点, Dが0点として平均を算出しています。
全員がAだと3.0になります。**

			保護者平均	職員平均	児童平均
学校の取組について	ア	子供が(学年+1)×10分の家庭学習に取り組めるように学年に応じた宿題の量や内容を検討し与えている。	2.4	2.4	
	ア	学習のときはテレビを消すなど、環境を整えて家庭学習に取り組ませるため、学年に応じた指導をしている。	2.4	2.7	
	イ	係活動などの取組の頑張りを認め、家庭に知らせている。	2.6	2.1	
	イ	家庭での取組を認め、家庭と連携して取り組んでいる。	2.5	2.1	
子供の様子について	ア	(学年+1)×10分の家庭学習に取り組んでいる。	2.2	2.1	2.2
	ア	学習のときはテレビを消すなど、環境を整えて家庭学習に取り組んでいる。	2.2	2.4	2.3
	イ	進んで家庭の仕事に取り組んでいる。	2.0	2.7	2.5
	イ	家庭での自分の役割を自覚して仕事に取り組んでいる。	2.0	2.7	2.4
保護者の取組について	ア	家庭では、(学年+1)×10分の家庭学習時間を確保している。	2.0	2.3	
	ア	学習のときはテレビを消すなど、子供の学習環境を整えて家庭学習に取り組ませている。	2.2	2.1	
	イ	継続して取り組めるような仕事の役割を与えている。	2.0	2.6	
	イ	仕事の頑張りに対し、励ましや賞賛の働きかけを行っている。	2.4	2.6	

2. 学校運営について

(1)教育方針・教育活動全般について

評価の観点	保護者平均
①学校は、教育方針、教育活動内容を分かりやすく伝えている。 (学校要覧、PTA全体会、学校・学年だより、学級懇談会、ホームページ、ブログなど)	2.7
②学校は、野村ならではの特色ある教育活動を行っている。 (米作り、全校遠足、異学年交流、美化活動、若草太鼓の活動など)	2.9
③学校の教育活動は、少人数の良さを生かしたものである。	2.7
④学校行事は、子供が十分に活躍できるものである。 (卒業式、入学式、運動会、野外活動、修学旅行、野村っ子まつりなど)	2.8
⑤学校は、保護者と連携・協力しながら教育を進めている。 (家庭訪問、授業参観、自由参観、個人面談、日常の連絡など)	2.8
⑥学校は、地域と連携・協働していく努力をしている。 (各教科、総合的な学習の時間での地域学習やコミュニティゲストの活用など)	2.7
⑦学校は緊急事態(災害・事故等)が発生した場合の対応が適切である。 (一斉配信メール、引き渡し訓練など)	2.8

⑧児童の一斉下校時刻の設定や、時に応じた下校指導は適切である。	2.7
⑨学校は、保護者の願いに応えた教育活動を行っている。 (アンケート調査、意見の集約など)	2.7
⑩学校のいじめ防止基本方針を知っている。	2.3
⑪学校のいじめに関する相談窓口は、教頭、養護教諭、いじめ担当教諭(服部)、スクールカウンセラーであると知っている。	2.4
⑫学校の相談窓口は、相談しやすい。	2.5
⑬学校では、いじめの未然防止に向けた取組を適切に行っている。	2.5
⑭学校では、いじめが起きた場合、適切に対応している。	2.4

(2)子供への指導について

①学校は、子供のことをよく理解して指導に当たっている。	2.7
②学校は子供の学校生活全般において、適切に指導している。	2.7
③学校は、子供の学習について、適切に指導している。 (わかる授業の工夫、家庭学習の工夫など)	2.6
④学校は、読み・書き・計算などの基礎学力を身に付けるために、きめ細かい指導をしている。 (授業、スキルタイム、家庭学習など)	2.3
⑤学校は、子供の相談に適切に応じている。 (個人面談、日常の会話など)	2.7
⑥学校は家庭への連絡をきめ細かく行っている。 (学級だより、連絡帳、電話連絡など)	2.7

(3)子供の姿について

①お子さんは、学校に行くことを楽しみにしている。	2.8
②お子さんは、授業が分かりやすいと言っている。	2.6
③お子さんは、学校行事や集会に喜んで参加している。	2.8
④お子さんは、友達と仲良くし、思いやりがある。	2.6
⑤お子さんは、進んで運動したり、戸外で遊んだりしている。	2.6

実践していることや心がけていることなど

家庭学習に関すること

<p>【保護者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学校で宿題を多めに出してもらって助かっている。 ○音読では疲れている日などは集中しないので、読むページを短くしている。 ○国語、算数は教科書を家でもやるようにしている。 ○自主的に取り組んでほしいと思っているので、自分のやるべきことなどをホワイトボードに書き出し、取り組んでいる。 ○宿題は毎日児童クラブでやっている。 ○予習よりも復習に重点をおいて学習させている。 ○興味があることはできる限りやらせるようにしている。 ○自室で一人で自主的に取り組むこと。 ○読書の時間をつくる。 ○本人が納得するまで学習の取り組みせ、夕食など終了するまで待っている。 ○入浴時などクイズ形式で問題を出したりしている。 ○茶の間で勉強することが多いので、テレビを消したり、会話を控えたりしている。 ○やることはきちんとやるよう心掛けていて良いと思う。 ○何も言わないが自主的にやっている。 ○やかまし村で下校後すぐに学習時間を決めてくれている。 ○苦手なところを話し合い、再度学習に取り組めるようもって行く。出来ているところは自信を持てるよう褒める。 <p>【職員】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○日々の家庭学習は定着している。 ○問題文をしっかり読んだり、字形を意識しながら書いたりできるようにする。 ○自主学習のやり方を指導している。 ○自学の内容について力を入れていきたい。 ○1学期は5行作文、2学期は400字の作文を月水金で出している。 ○一人で取り組めるよう授業で学習した内容を宿題に取り入れるようにしている。
--

お手伝いなど家庭での役割分担に関すること

【保護者】

- 心から感謝の気持ちを伝えるようにしている。
- さりげなく弟、妹の面倒を見てくれている。
- 家族が今何をやっているのか見るようにさせている。
- 土日の時間のある時に手伝ってもらっている。
- 片付けや家事等は言わないと手伝ってくれないが、弟の面倒は見てくれる。
- 食後自分の食器は片づける。
- 洗濯物をたたむ、食器を下げる、掃除機をかける。
- 自分から動かないときは、声掛けし手伝いをするよう促している。
- 上の子にはお風呂掃除、下の子にはカーテン閉めを担当させている。
- 買い物の荷物運び、お風呂洗い等。
- お風呂を掃除している。
- トイレ掃除を毎日してもらっている。最近は進んで食事の準備を手伝ってくれる。
- 働かざる者食うべからずで家事は分担制にしている。

【職員】

- 生活科の授業で手伝いの仕方を実践し各家庭で取り組んでもらった。
- 家族の一員であることを意識し、自分の仕事に責任を持てるようにする。
- 道徳、社会と関連させて励行していきたい。
- ひと月ごとに家庭での仕事を振り返ることができるような学習カード等を作成するとよいのかもしれない。

学校運営について

- スクールカウンセラーがせつかくいるのにうまく活用できていない気がする。もっと回数を増やしてほしい。
- 運動会ができたことがとてもよかった。元々少人数で密ではないので、もう少し行事があってもよいかなと思う。
- ブログ等にあまり載らなくなり、自分の子の様子があまり分からなくなった。
- 伝わったかどうか分からない一斉メールよりもLINEで連絡できるようにアカウントを一つ準備してほしい。
- 子供たちは毎朝元気に通学しています。それが答えだと思っています。
- 全体的にお知らせが遅い一年だった。

子供への指導について

- その子の良さを分かってくだされればよいと思っている。
- 下校時刻について詳細なお知らせがなく、今年度は前年度と時間が変わったりしていたので戸惑ったことがあった。
- よく本人を理解し対応していただいている。
- 雪合戦が禁止だったことはとても残念だった。子供たち自身に考えさせるなど、他に方法はなかったのか。
- 学級だよりをもっと発行してもらいたい。学校のHPに学級だよりを見られる機能がほしい。

子供の姿について

- 休み時間の異年齢との関わりは楽しいのか、話すことが多かった。
- 上の学年の子に声を掛けてもらって遊ぶとか、なるべくなら一緒に遊んでほしい。
- 行事や好きな授業は楽しみにして行っているようだ。その時々で気持ちに波があるが、毎日頑張って通えている。
- 休み時間より授業の方が楽しいと言ったことがあり、嬉しい面もありつつ、友達とうまくいってないのかと不安もある。
- 春先は苦勞したが、今はリズムを取り戻すことができた。
- 毎日学校での出来事を楽しく話してくれる。勉強ができれば一番だと思うが、その他の部分も大切だと思っている。

その他

- コロナ禍の中、安心して通学できていることに感謝している。
- 学年行事等工夫の仕方のできたかなと思う。残念だ。
- 毎週末に学年だよりを発行してくださり、いつも楽しみにして読んでいる。毎日連絡帳にその日の子供の様子を一言書いてあり、家庭との連携がとりやすいように工夫されている。
- 早くいつもの生活に戻って先生児童の笑顔を直接見られるといいなと思う。
- 学校の体育館を校外の人に開放しているが、消毒や清掃をしっかりと行ってもらいたい。
- 少人数の学校の良さを生かした柔軟性のある教育をしてほしい。
- 先生方や友達のおかげもあり、楽しんで過ごせているようで安心している。
- マスクをせずに登下校したり廊下を大きな声で話す児童がいるようだ。マスクをしていない児童に話しかけられ、不安に感じることもある。
- 朝に職員室に挨拶しても先生方から挨拶が返さないことがある。人として挨拶は基本だ。

【学校関係者評価委員の方々からの御意見】

○家庭での仕事に対して、先生方が評価しているにもかかわらず、保護者平均が低いのが気になる。児童からすれば、ある程度家庭での仕事をこなしているつもりでも、保護者が高望みしすぎているのかもしれない。

○学校運営について、いじめについて評価が低いので、いじめ担当の先生だけでなく、学校全体としてももう少し努力していただけたら良いと思った。

○コロナ渦で、本来の授業とは大きく変わったところもあるが、子供たちがそれを受け入れ、学んできた姿が「学校が楽しい」、「授業が分かりやすい」など、結果に出ていると思う。

○家庭の仕事＝手伝いの部分が全般的に低いので、子供を交えて何かできることなど考えていかななくてはと思った。

○「(学年+1)×10分の家庭学習に取り組んでいる。」の保護者、職員及び児童の平均が低い点数となっているので、家庭学習の時間に取り組む環境をより一層整えていく必要がある。

○学校運営について平均点数が全体的に高く評価されているので、今後も小規模校の良さを生かした学校運営に期待している。いじめに対して問題等を感じている保護者がいるのではないかと推察される。相談窓口等についての周知等に課題はないのか。

○実践していることや心がけていることなどから学校からの情報提供について要望があるので、情報発信についての取り組みをお願いする。

○若草太鼓が野村小の伝統として根付き、地域の方々にも少しずつ浸透していることをとてもうれしく思う。

○協働型学校評価重点目標について、保護者平均の低い項目は、我が子に対する期待とのギャップや保護者自身の自戒も含めた評価のように思う。

【考察】

○協働型学校評価重点目標について、保護者の皆様の評価は、学校での取組について、高い評価をいただいていた。一方で、子供たちの様子については、家庭学習や家庭の仕事(手伝い)は、進んで取り組めていないという評価で、低い値になっていました。保護者の皆様の取り組みについても、環境を整えたり、仕事を与えたりしている点で、励ましてはいるものの子供たちへの働きかけは十分でないという評価でした。

○学校運営については、おおむね高い評価をいただいていた。小規模校の野村ならではの特色ある教育活動については、ほとんどの御家庭から評価をいただきました。一方で、いじめ防止基本方針について、周知の面において低い評価で、いじめ防止について、保護者の方への情報の提供など、今後の課題として取り組んでいかなければならない点だと認識いたしました。

○学習面では、基礎学力の徹底について、もっときめ細かい指導を望まれている御家庭が多いことが分かりました。週2回のスキルタイムの充実や、一人一人の学習課題に合った個別の指導をさらに充実させていけるように工夫していきたいと思えます。

○子供たち自身の評価は、自分では進んで家庭での仕事に取り組んでいると答えている児童が多く、保護者の方との差が大きかったです。子供たちは与えられた仕事には取り組んでいるものの、保護者の方は、さらに自ら取り組んでほしいと願っているように思われました。